

問題

あなたの親しい友人が、あなたに以下のような相談をしました。

「私の父 A は叔父 B と 2 人で小さな工場を経営しているが、ここ 2 年ほどは A と B の関係が悪化していて、経営は事実上 B が単独で行っていた。それでも、工場のある甲土地の登記名義は A になっていたが、最近になって、甲土地の登記が A に無断で B 名義に書き換えられていたことが判明した。しかも、私が B の妻から聞いたところによると、B は甲土地を自らの土地と偽って第三者 C に売却する契約を締結したようである。このままでは甲土地は他人のものになってしまうのではないかと心配であるし、私はこのようなことをした B を許せない。どうしたらよいか教えてほしい。」

あなたがこの友人に今後の方針についてアドバイスするとしたら、どのように言うべきか、あなたの意見を述べて下さい。その場合、

- ① 訴訟による解決の具体的な内容と利点・欠点
- ② 訴訟によらない解決の具体的な内容と利点・欠点
- ③ それらを踏まえた上でのアドバイス

に分けて答えて下さい。なお、ここでの「訴訟」は民事訴訟・刑事訴訟・行政訴訟のいずれでも構いませんし、いずれかに絞って考えることも自由です。また、事実関係が不足すると考える場合は、どのような事実を確認する必要があるかを述べて下さい。